2015 年 12 月 7 日

各位

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
（コード番号：8729　東証第一部）

本日、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社の 100%子会社であるソニー生命保険株式会社が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせします。

記

ソニー生命保険株式会社　プレスリリース（添付）

47 都道府県別　生活意識調査 2015

以上

【お問合せ先】
ソニー生命保険株式会社　広報部広報課　（電話：03-3475-8813）

2015 年 12 月 7 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

ソニー生命調べ／全国の 20 歳～59 歳の男女 2,350 名にアンケート

47 都道府県別　生活意識調査 2015

食べ物の美味しさが自慢　トップ 3 は「新潟県」「山形県」「福岡県」
ふるさと納税したい自治体がある都道府県　1 位「北海道」

住宅購入費用　関東平均 2,710 万円　近畿平均 2,629 万円
教育熱は西高東低!?　教育にお金をかけたい県民が多い　1 位「徳島県」「福岡県」「大分県」

貯蓄が最も多い都道府県は？　1 位「香川県」426.4 万円　2 位「奈良県」409.0 万円

47 都道府県ごとに、ある程度共通した性格や行動パターンなどがみられ、その特徴・傾向を指す言葉として「県民性」があります。住んでいる地域が違えば、気候や風土、文化も違い、生活意識や行動にも違いが出てきます。それと同じようにライフプランも現在の環境や将来の思いによって異なるため、人の数だけパターンが存在します。

ライフプランにあわせたオーダーメイドの保険設計にこだわりをもち、お客様それぞれに最適なオーダーメイド型商品を提供しているソニー生命では、47 都道府県民の生活意識や行動の特徴を発信すべく、アンケートの結果を公開しました。

◆本調査結果の要約◆

■ POINT 1 【47 都道府県別　自慢ポイント】(P. 3)

⇒食べ物の美味しさが自慢　トップ 3 は「新潟県」「山形県」「福岡県」

全国の 20 歳～59 歳の男女 2,350 名（全回答者）に、現在住んでいる都道府県で自慢できることを聞き、自慢できると回答した割合の高さで各項目における都道府県ランキングを算出しました。

【食べ物の美味しさが自慢の都道府県】は、1 位「新潟県」（72.0%）、2 位「山形県」「福岡県」（いずれも 64.0%）、4 位「富山県」「福井県」（いずれも 62.0%）と上位 5 県はいずれも日本海に面している県になりました。

■ POINT 2 【47 都道府県のイメージ】(P.5)

⇒ふるさと納税したい自治体がある都道府県　1 位「北海道」

全回答者（2,350 名）に、【ふるさと納税をしたい自治体がある都道府県】を聞いたところ、1 位「北海道」（14.9%）、2 位「宮崎県」（2.5%）、3 位「沖縄県」（2.1%）となりました。

北海道が選ばれた理由をみると、「北海道が好き」（女性 20 代・東京）のほか、「美味しい食べ物が送られてきそうだから」（男性 50 代・鹿児島県）や「海産物が豊富だから」（男性 40 代・和歌山県）といった理由が挙げられました。

■ POINT 3 【47 都道府県別　生活意識】(P.8)

⇒実際の住宅購入費用は？　関東平均 2,710 万円　近畿平均 2,629 万円

現在の住まいが持ち家である 1,396 名に、住宅をいくらで購入したか聞いたところ、地域別の平均は、「関東」が最も高く 2,710 万円、次いで「近畿」2,629 万円、「東海」2,531 万円となりました。

■ POINT 4 【47 都道府県別　生活意識】(P.10)

⇒教育熱は西高東低!?　教育にお金をかけたい県民が多い　1 位「徳島県」「福岡県」「大分県」

できるだけお金をかけたいと思うもので「教育」を挙げた人の割合をみると、1 位が「徳島県」「福岡県」「大分県」（いずれも 20.0%）となったほか、4 位に「兵庫県」「広島県」「山口県」「愛媛県」（いずれも 18.0%）、8 位に「和歌山県」（16.0%）が入り、上位 10 都道府県中 8 県が西日本の県となりました。教育熱の高い県は西日本に多いようです。

■ POINT 5 【47 都道府県別　貯蓄額】(P.14)

⇒貯蓄が最も多い都道府県は？　1 位「香川県」426.4 万円　2 位「奈良県」409.0 万円

全回答者（2,350 名）に、現在の貯蓄額を聞いたところ（「0 円」～「3000 万円以上」の選択肢を用意し聴取）、平均貯蓄額が最も高くなった都道府県は「香川県」で 426.4 万円。2 位は「奈良県」で 409.0 万円、3 位は「福井県」で 384.8 万円となりました。

NEWS LETTER (調査レポート)

47 都道府県別　生活意識調査 2015

【47 都道府県別　自慢ポイント】

食べ物の美味しさが自慢　トップ 3 は「新潟県」「山形県」「福岡県」
子育てのしやすさが自慢　1 位「福井県」、2 位「富山県」と北陸地方がツートップに
元気なお年寄りの多さが自慢　1 位「沖縄県」
暮らしやすさが自慢　1 位「福岡県」 2 位「静岡県」 3 位「福井県」「沖縄県」
方言のかわいさが自慢　1 位「徳島県」、有名な出身者の多さが自慢　1 位「福岡県」
地元企業の景気の良さが自慢　1 位「愛知県」 2 位「石川県」

【47 都道府県のイメージ】

ふるさと納税したい自治体がある都道府県　1 位「北海道」
老後に移住したい都道府県　1 位「沖縄」
旅行で行きたい都道府県　1 位「北海道」 2 位「沖縄県」 3 位「京都府」
野球王国だと思う都道府県　1 位「大阪府」 2 位「東京都」 3 位「神奈川県」
サッカー王国だと思う都道府県　「静岡県」がダントツ
ラグビー王国だと思う都道府県　「大阪府」「東京都」がツートップ

【47 都道府県別　生活意識】

健康への投資意欲が高い県民が多い　1 位「滋賀県」「長崎県」、美容への投資意欲は？
和歌山県はゲーム好きが多い？　ゲーム・ホビーにお金をかけたい県民の多さで 1 位に
四国は恋愛意識が高い?!　恋愛にお金をかけたい県民の多さで「香川県」「愛媛県」が 1 位に

クルマにお金をかけたい県民が多い　1 位は「茨城県」、2 位「滋賀県」「長崎県」
住まいにお金をかけたい県民が多い　1 位は「奈良県」、2 位「茨城県」「富山県」
実際の住宅購入費用は？　関東平均 2,710 万円　近畿平均 2,629 万円
住宅のこだわりポイント　東北は「戸建て」、東海は「耐震性能」、九州は「広さ」にこだわり

教育熱は西高東低!?　教育にお金をかけたい県民が多い　1 位「徳島県」「福岡県」「大分県」
子どもに望む進学先　中学校・高校は私立に行かせたい　「近畿」が他の地域より高い傾向

【47 都道府県別　家族事情】

仲良し家族が多い都道府県　1 位「福岡県」、友達親子が多い都道府県　1 位「宮城県」
親の老後は家族が支えるべきだと思う　1 位は「広島県」と「長崎県」

【47 都道府県別　夫婦関係】

家事メンが多い都道府県　1 位「群馬県」「東京都」、イクメンが多い都道府県　1 位「宮崎県」
“財布の紐は妻に”＆“妻がケンカで勝つ”　ニッポンかかあ天下グランプリ　1 位は「岐阜県」
夫のおこづかいが多い地域は近畿、妻のおこづかいが多い地域は関東

【47 都道府県別　貯蓄額】

貯蓄が最も多い都道府県は？　1 位「香川県」426.4 万円　2 位「奈良県」409.0 万円
貯蓄の目的にも県民性は表れる!?　香川県は万一の際の備えで貯蓄をする人が多い傾向

このたび、ソニー生命保険株式会社（代表取締役社長　萩本　友男）は、2015 年 11 月 9 日～11 月 16 日の 8 日間、全国の 20 歳～59 歳の男女に対し、「生活意識調査」をインターネットリサーチで実施し、2,350 名の有効サンプルの集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

2015 年 12 月 7 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

アンケート調査結果

◆食べ物の美味しさが自慢　トップ 3 は「新潟県」「山形県」「福岡県」
◆子育てのしやすさが自慢　1 位「福井県」、2 位「富山県」と北陸地方がツートップに
◆元気なお年寄りの多さが自慢　1 位「沖縄県」
◆暮らしやすさが自慢　1 位「福岡県」 2 位「静岡県」 3 位「福井県」「沖縄県」

◆方言のかわいさが自慢　1 位「徳島県」、有名な出身者の多さが自慢　1 位「福岡県」
◆地元企業の景気の良さが自慢　1 位「愛知県」 2 位「石川県」

全国の 20 歳～59 歳の男女 2,350 名（全回答者）に、現在住んでいる都道府県で自慢できることを聞き、自慢できると回答した割合の高さで各項目における都道府県ランキングを算出しました。

まず、生活に関連する内容についてみていくと、【食べ物の美味しさが自慢の都道府県】は、1 位「新潟県」（72.0%）、2 位「山形県」「福岡県」（いずれも 64.0%）、4 位「富山県」「福井県」（いずれも 62.0%）と上位 5 県はいずれも日本海に面している県になりました。（図 1）

次に、【子育てのしやすさが自慢の都道府県】や【元気なお年寄りの多さが自慢の都道府県】をみると、【子育てのしやすさが自慢の都道府県】では、1 位「福井県」（28.0%）、2 位「富山県」（24.0%）と北陸地方の県が上位 2 位を占めました。北陸新幹線の開業で注目を集めている北陸ですが、子育てにもうってつけのようです。【元気なお年寄りの多さが自慢の都道府県】では、1 位は「沖縄県」（66.0%）で 2 位の「高知県」（26.0%）に大差をつける結果となりました。（図 2）（図 3）

また、【交通の便の良さが自慢の都道府県】をみると、1 位「大阪府」（54.0%）、2 位「東京都」（52.0%）、3 位「神奈川県」（48.0%）、4 位「兵庫県」（46.0%）、5 位「福岡県」（40.0%）でした。（図 4）

そして、【暮らしやすさが自慢の都道府県】をみると、1 位は「福岡県」（60.0%）、2 位「静岡県」（54.0%）、3 位「福井県」「沖縄県」（いずれも 52.0%）という結果になりました。（図 5）

（図 1）

◆「食べ物の美味しさ」が自慢
各都道府県【n=50】 ※上位20都道府県表示
《全国平均：36.6%》

	都道府県	%
1位	新潟県	72.0
2位	山形県	64.0
	福岡県	64.0
4位	富山県	62.0
	福井県	62.0
6位	石川県	56.0
	高知県	56.0
	宮崎県	56.0
9位	秋田県	54.0
10位	北海道	52.0
	青森県	52.0
	熊本県	52.0
13位	島根県	50.0
	徳島県	50.0
15位	長崎県	48.0
16位	岩手県	46.0
	鳥取県	46.0
	鹿児島県	46.0
19位	大分県	44.0
20位	宮城県	40.0

（図 2）

◆「子育てのしやすさ」が自慢
各都道府県【n=50】 ※上位15都道府県表示
《全国平均：11.5%》

	都道府県	%
1位	福井県	28.0
2位	富山県	24.0
3位	香川県	22.0
4位	鳥取県	20.0
	山口県	20.0
6位	岩手県	18.0
	千葉県	18.0
	東京都	18.0
9位	滋賀県	16.0
	佐賀県	16.0
	沖縄県	16.0
12位	北海道	14.0
	秋田県	14.0
	石川県	14.0
	長崎県	14.0

（図 3）

◆「元気なお年寄りの多さ」が自慢
各都道府県【n=50】 ※上位20都道府県表示
《全国平均：14.1%》

	都道府県	%
1位	沖縄県	66.0
2位	高知県	26.0
3位	山形県	20.0
	福井県	20.0
	長野県	20.0
	徳島県	20.0
7位	岩手県	18.0
	秋田県	18.0
	三重県	18.0
	鳥取県	18.0
	島根県	18.0
	山口県	18.0
	愛媛県	18.0
	熊本県	18.0
	宮崎県	18.0
16位	新潟県	16.0
	富山県	16.0
	大阪府	16.0
	長崎県	16.0
	鹿児島県	16.0

NEWS LETTER (調査レポート)

（図 4）

◆「交通の便の良さ」が自慢
各都道府県【n=50】 ※上位15都道府県表示
《全国平均：13.6%》

	都道府県	%
1位	大阪府	54.0
2位	東京都	52.0
3位	神奈川県	48.0
4位	兵庫県	46.0
5位	福岡県	40.0
6位	千葉県	34.0
	愛知県	34.0
8位	宮城県	28.0
	埼玉県	28.0
10位	京都府	24.0
11位	栃木県	18.0
	広島県	18.0
13位	静岡県	16.0
14位	三重県	14.0
	滋賀県	14.0

（図 5）

◆「暮らしやすさ」が自慢
各都道府県【n=50】 ※上位15都道府県表示
《全国平均：36.9%》

	都道府県	%
1位	福岡県	60.0
2位	静岡県	54.0
3位	福井県	52.0
	沖縄県	52.0
5位	宮城県	50.0
	神奈川県	50.0
	香川県	50.0
	佐賀県	50.0
9位	石川県	46.0
	滋賀県	46.0
11位	栃木県	44.0
	岡山県	44.0
13位	茨城県	42.0
	埼玉県	42.0
	山口県	42.0

その他のランキングをみると、【方言のかわいさが自慢の都道府県】は、1 位の「徳島県」（22.0%）、2 位の「福岡県」「長崎県」（いずれも 20.0%）のほか、5 位「広島県」（16.0%）、7 位「宮崎県」（16.0%）、8 位「山口県」「愛媛県」「熊本県」（いずれも 14.0%）といった中国・四国、九州の県が上位になりました。【有名な出身者の多さが自慢の都道府県】では 1 位「福岡県」（34.0%）、2 位「沖縄県」（30.0%）、3 位「山口県」（18.0%）でした。多くの有名芸能人を輩出している福岡県、沖縄県に続いたのは、歴代の首相が最も多い山口県でした。

また、【地元企業の景気の良さが自慢の都道府県】では、1 位「愛知県」（26.0%）、2 位「石川県」（10.0%）となりました。愛知県は世界的な自動車メーカー、石川県は北陸新幹線開業の恩恵を受けているのではないでしょうか。（図 6）（図 7）（図 8）

（図 6）

◆「方言のかわいさ」が自慢
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均：8.6%》

	都道府県	%
1位	徳島県	22.0
2位	福岡県	20.0
	長崎県	20.0
4位	京都府	18.0
5位	三重県	16.0
	広島県	16.0
7位	宮崎県	16.0
8位	山口県	14.0
	愛媛県	14.0
	熊本県	14.0

（図 7）

◆「有名な出身者の多さ」が自慢
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均：7.0%》

	都道府県	%
1位	福岡県	34.0
2位	沖縄県	30.0
3位	山口県	18.0
4位	群馬県	16.0
	神奈川県	16.0
6位	熊本県	14.0
7位	東京都	12.0
	新潟県	12.0
	大阪府	12.0
	長崎県	12.0

（図 8）

◆「地元企業の景気の良さ」が自慢
各都道府県【n=50】 ※上位8都道府県表示
《全国平均：4.0%》

	都道府県	%
1位	愛知県	26.0
2位	石川県	10.0
3位	宮城県	8.0
	富山県	8.0
	静岡県	8.0
	三重県	8.0
	広島県	8.0
	福岡県	8.0

NEWS LETTER (調査レポート)

◆ふるさと納税したい自治体がある都道府県　1 位「北海道」
◆老後に移住したい都道府県　1 位「沖縄」
◆旅行で行きたい都道府県　1 位「北海道」 2 位「沖縄県」 3 位「京都府」

全回答者（2,350 名）に、【ふるさと納税をしたい自治体がある都道府県】を聞いたところ、1 位「北海道」（14.9%）、2 位「宮崎県」（2.5%）、3 位「沖縄県」（2.1%）となりました。（図 9）

北海道が選ばれた理由をみると、「北海道が好き」（女性 20 代・東京）のほか、「美味しい食べ物が送られてきそうだから」（男性 50 代・鹿児島県）や「海産物が豊富だから」（男性 40 代・和歌山県）といった理由が挙げられました。

次に、全回答者（2,350 名）に、【老後に移住したいと思う都道府県】を聞いたところ、1 位「沖縄県」（10.3%）、2 位「北海道」（4.3%）、3 位「東京都」（2.7%）となりました。（図 10）

沖縄県が選ばれた理由をみると、「海がきれい」（女性 30 代・富山県）や「温暖な気候だから」（女性 20 代・宮城県）といった沖縄特有の自然・気候のほか、「時間がゆっくり流れる」（男性 30 代・神奈川県）、「のんびりできる」（男性 50 代・三重県）などが挙げられました。

また、全回答者（2,350 名）に、【旅行で行きたいと思う都道府県】を聞いたところ、1 位「北海道」（35.7%）、2 位「沖縄県」（19.3%）、3 位「京都府」（8.9%）でした。（図 11）

北海道が選ばれた理由をみると、「カニを食べたい」（女性 30 代・熊本県）、「いくらを食べたい」（女性 30 代・山梨県）など美味しい海産物を食べたいといった理由や「スキー、スノボーをしたいから」（男性 20 代・鹿児島県）、「雪まつりを見てみたい」（男性 50 代・長崎県）などレジャーやイベントを楽しみたいといった理由が挙げられました。

（図 9）
◆「ふるさと納税したい自治体がある」都道府県［単一回答］
全体【n=2350】※上位10都道府県表示

	都道府県	%
1位	北海道	14.9
2位	宮崎県	2.5
3位	沖縄県	2.1
4位	宮城県	2.0
	福島県	2.0
6位	山形県	1.9
	新潟県	1.9
	鳥取県	1.9
	福岡県	1.9
	長崎県	1.9

（図 10）
◆「老後に移住したいと思う」都道府県［単一回答］
全体【n=2350】※上位10都道府県表示

	都道府県	%
1位	沖縄県	10.3
2位	北海道	4.3
3位	東京都	2.7
4位	福岡県	2.0
5位	神奈川県	1.7
6位	京都府	1.4
7位	大阪府	1.3
8位	長野県	1.2
	静岡県	1.2
10位	兵庫県	1.1

（図 11）
◆「旅行で行きたいと思う」都道府県［単一回答］
全体【n=2350】※上位10都道府県表示

	都道府県	%
1位	北海道	35.7
2位	沖縄県	19.3
3位	京都府	8.9
4位	東京都	5.7
5位	大阪府	1.7
	長崎県	1.7
7位	神奈川県	1.6
8位	福岡県	1.4
9位	石川県	1.1
10位	長野県	1.0

NEWS LETTER (調査レポート)

◆野球王国だと思う都道府県　1 位「大阪府」 2 位「東京都」 3 位「神奈川県」
◆サッカー王国だと思う都道府県 「静岡県」がダントツ
◆ラグビー王国だと思う都道府県 「大阪府」「東京都」がツートップ

特定のスポーツが盛んな都道府県を○○（スポーツ名）王国と表現することがありますが、国内の 2 大プロスポーツである野球とサッカー、そして、今年注目を集めたラグビーについて、全回答者（2,350 名）に、どこが○○王国だと思うか聞きました。

まず、【野球王国だと思う都道府県】を聞いたところ、1 位「大阪府」（20.9%）、2 位「東京都」（13.9%）、3 位「神奈川県」（8.4%）、4 位「広島県」（4.5%）、5 位「福岡県」（4.2%）となるなど、9 位の「愛知県」（1.9%）までは、プロ野球球団（日本野球機構 NPB 所属の球団）の本拠地がある都道府県になりました。（図 12）

次に、【サッカー王国だと思う都道府県】を聞いたところ、1 位は「静岡県」（41.3%）で、2 位の「千葉県」（6.0%）を 35 ポイント以上離してダントツとなりました。サッカーといえば静岡県といったイメージを持つ人が多いようです。（図 13）

そして、【ラグビー王国だと思う都道府県】を聞いたところ、国内ラグビーの聖地といわれる花園ラグビー場がある「大阪府」（12.2%）が 1 位となり、同じくラグビーの聖地と言われる秩父宮ラグビー場がある「東京都」（11.3%）が僅差の 2 位、3 位は今年大注目を集めた五郎丸選手の出身地である「福岡県」（3.9%）となりました。（図 14）

（図 12）

◆「野球王国だと思う」都道府県［単一回答］
全体【n=2350】 ※上位10都道府県表示

	都道府県	%
1位	大阪府	20.9
2位	東京都	13.9
3位	神奈川県	8.4
4位	広島県	4.5
5位	福岡県	4.2
6位	北海道	3.7
7位	兵庫県	3.6
8位	宮城県	2.9
9位	愛知県	1.9
10位	愛媛県	1.5

（図 13）

◆「サッカー王国だと思う」都道府県［単一回答］
全体【n=2350】 ※上位10都道府県表示

	都道府県	%
1位	静岡県	41.3
2位	千葉県	6.0
3位	東京都	5.9
4位	埼玉県	5.3
5位	神奈川県	5.2
6位	大阪府	2.1
7位	広島県	1.3
8位	北海道	1.1
9位	茨城県	0.9
10位	青森県	0.8

（図 14）

◆「ラグビー王国だと思う」都道府県［単一回答］
全体【n=2350】 ※上位10都道府県表示

	都道府県	%
1位	大阪府	12.2
2位	東京都	11.3
3位	福岡県	3.9
4位	岩手県	3.0
5位	神奈川県	2.7
	静岡県	2.7
7位	京都府	2.5
8位	埼玉県	1.9
9位	北海道	1.7
10位	兵庫県	1.6

NEWS LETTER (調査レポート)

◆健康への投資意欲が高い県民が多い　1 位「滋賀県」「長崎県」、美容への投資意欲は？
◆和歌山県はゲーム好きが多い？　ゲーム・ホビーにお金をかけたい県民の多さで 1 位に
◆四国は恋愛意識が高い?!　恋愛にお金をかけたい県民の多さで「香川県」「愛媛県」が 1 位に

次に、各都道府県民の生活意識の特徴を探るための質問を行いました。

全回答者（2,350　名）に、できるだけお金をかけたいと思うものを聞き、お金をかけたいと回答した割合の高さで各項目における都道府県ランキングを算出したところ、【健康】の 1 位は「滋賀県」と「長崎県」（いずれも 36.0%）となり、【美容・化粧品】の 1 位は「徳島県」（22.0%）となりました。また、「静岡県」（健康 7 位、美容 2 位）や「大阪府」（健康 7 位、美容 2 位）、「奈良県」（健康 3 位、美容 5 位）、「徳島県」（健康 4 位、美容 1 位）、「長崎県」（健康 1 位、美容 5 位）の 5 府県は美容と健康のどちらでも上位になっており、美容と健康の両方に対する意識が高いようです。（図 15）（図 16）

（図 15）

◆「健康」にお金をかけたい
各都道府県【n=50】 ※上位9都道府県表示
《全国平均：23.5%》

	都道府県	%
1位	滋賀県	36.0
	長崎県	36.0
3位	奈良県	34.0
4位	新潟県	32.0
	徳島県	32.0
	大分県	32.0
7位	静岡県	30.0
	大阪府	30.0
	山口県	30.0

（図 16）

◆「美容・化粧品」にお金をかけたい
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均：13.4%》

	都道府県	%
1位	徳島県	22.0
2位	東京都	20.0
	静岡県	20.0
	大阪府	20.0
5位	富山県	18.0
	福井県	18.0
	山梨県	18.0
	奈良県	18.0
	和歌山県	18.0
	長崎県	18.0

趣味や恋愛についてみると、【ゲーム・ホビー】の 1 位は「和歌山県」（24.0%）となりました。また、【恋愛】では「香川県」と「愛媛県」（いずれも 14.0%）が 1 位となり、4 位の「高知県」（10.0%）とあわせて四国勢が目立ちました。（図 17）（図 18）

（図 17）

◆「ゲーム・ホビー」にお金をかけたい
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均：13.8%》

	都道府県	%
1位	和歌山県	24.0
2位	栃木県	22.0
	新潟県	22.0
	愛媛県	22.0
5位	秋田県	20.0
6位	岩手県	18.0
	山形県	18.0
	東京都	18.0
	徳島県	18.0
	長崎県	18.0

（図 18）

◆「恋愛」にお金をかけたい
各都道府県【n=50】 ※上位9都道府県表示
《全国平均：6.6%》

	都道府県	%
1位	香川県	14.0
	愛媛県	14.0
3位	三重県	12.0
4位	青森県	10.0
	千葉県	10.0
	東京都	10.0
	福井県	10.0
	兵庫県	10.0
	高知県	10.0

NEWS LETTER (調査レポート)

◆クルマにお金をかけたい県民が多い　1 位は「茨城県」、2 位「滋賀県」「長崎県」
◆住まいにお金をかけたい県民が多い　1 位は「奈良県」、2 位「茨城県」「富山県」
◆実際の住宅購入費用は？　関東平均 2,710 万円　近畿平均 2,629 万円
◆住宅のこだわりポイント　東北は「戸建て」、東海は「耐震性能」、九州は「広さ」にこだわり

できるだけお金をかけたいと思うもので、自動車や住宅といった高価なものについてみると、【自動車】の 1 位は「茨城県」(18.0%)、2 位「滋賀県」「長崎県」(いずれも 16.0%)となり、【住宅】の 1 位は「奈良県」(22.0%)、2 位「茨城県」「富山県」(いずれも 18.0%)でした。「茨城県」は自動車で 1 位、住宅で 2 位という結果になりました。茨城県民は、高価なものにお金をしっかりかけたいと思っている人が多いのかもしれません。（図 19）(図 20)

（図 19）

◆「自動車」にお金をかけたい
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均:9.6%》

	都道府県	%
1位	茨城県	18.0
2位	滋賀県	16.0
	長崎県	16.0
4位	北海道	14.0
	石川県	14.0
	福井県	14.0
	山梨県	14.0
	三重県	14.0
	島根県	14.0
	岡山県	14.0

（図 20）

◆「住宅」にお金をかけたい
各都道府県【n=50】 ※上位9都道府県表示
《全国平均:10.9%》

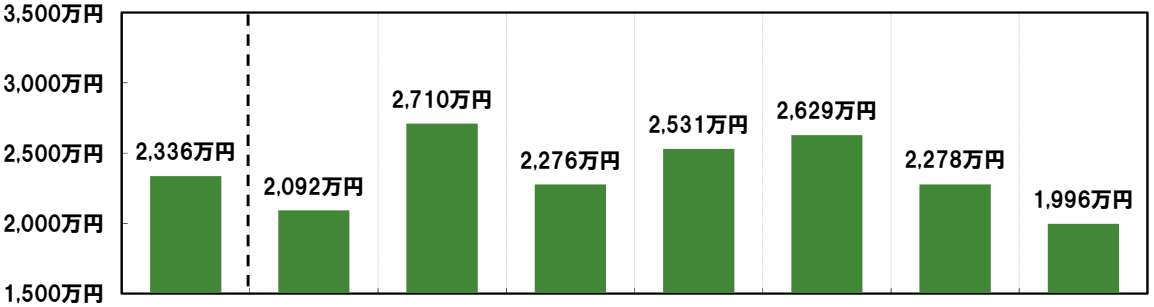
	都道府県	%
1位	奈良県	22.0
2位	茨城県	18.0
	富山県	18.0
4位	秋田県	16.0
	新潟県	16.0
	三重県	16.0
	山口県	16.0
	福岡県	16.0
	長崎県	16.0

住宅は人生において最も高価な買い物といわれます。そこで、住宅選びに関する質問を行いました。

まず、現在の住まいが持ち家である 1,396 名に、住宅をいくらで購入したか聞いたところ、地域別の平均は、「関東」が最も高く2,710 万円、次いで「近畿」2,629 万円、「東海」2,531 万円となりました。（図 21）

（図 21）

◆現在住んでいる住宅の購入費用の平均(一戸建ての場合は、土地代を含む)
対象:現在の住まいが持ち家の人



全国平均	地域別						
	北海道・東北	関東	北陸・甲信越	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
n=1396	n=212	n=188	n=221	n=122	n=184	n=272	n=197

NEWS LETTER (調査レポート)

次に、全回答者（2,350 名）に、住宅を選ぶ際に譲れないポイントを聞いたところ、地域による特徴がみられたのは、戸建てであることや耐震性能、広さで、【戸建てであること】では、1 位に「岩手県」（48.0%）、2 位に「秋田県」（44.0%）、4 位に「宮城県」「福島県」（いずれも 42.0%）と東北の 4 県が上位に入り、戸建てを重視する人が東北に多い様子がうかがえました。また、【耐震性能】では、1 位は「静岡県」（46.0%）、2 位「愛知県」（40.0%）と東海地方の県が 1 位、2 位を占め、「岐阜県」（34.0%）も 5 位となりました。耐震性能を譲れないポイントと考えている人は、東海に多いようです。そして、【広さ】をみると、1 位の「宮崎県」（32.0%）をはじめ、2 位の「福岡県」「大分県」「鹿児島県」（いずれも 30.0%）、7 位の「佐賀県」（26.0%）と九州の 5 県が上位に入りました。九州の人は、住宅の広さにこだわりがあるようです。（図 22）（図 23）（図 24）

（図 22）

◆「戸建てであること」を重視する
各都道府県【n=50】 ※上位8都道府県表示
《全国平均：35.8%》

	都道府県	%
1位	岩手県	48.0
2位	秋田県	44.0
	石川県	44.0
4位	宮城県	42.0
	福島県	42.0
	山梨県	42.0
	愛媛県	42.0
	佐賀県	42.0

（図 23）

◆「耐震性能」を重視する
各都道府県【n=50】 ※上位9都道府県表示
《全国平均：26.0%》

	都道府県	%
1位	静岡県	46.0
2位	愛知県	40.0
3位	福島県	36.0
	高知県	36.0
5位	宮城県	34.0
	長野県	34.0
	岐阜県	34.0
	島根県	34.0
	徳島県	34.0

（図 24）

◆「広さ」を重視する
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均：19.7%》

	都道府県	%
1位	宮崎県	32.0
2位	神奈川県	30.0
	滋賀県	30.0
	福岡県	30.0
	大分県	30.0
	鹿児島県	30.0
7位	三重県	26.0
	大阪府	26.0
	兵庫県	26.0
	佐賀県	26.0

NEWS LETTER (調査レポート)

◆教育熱は西高東低!? 教育にお金をかけたい県民が多い 1 位「徳島県」「福岡県」「大分県」
◆子どもに望む進学先 中学校・高校は私立に行かせたい 「近畿」が他の地域より高い傾向

住宅選びについてみてきましたが、住宅購入資金と同じく子どもの教育資金について考えることもライフプランニングにおいては大きなウェイトを占めることが多くあります。そこで、教育についての質問を行いました。

まず、できるだけお金をかけたいと思うもので「教育」を挙げた人の割合をみると、1 位が「徳島県」「福岡県」「大分県」(いずれも 20.0%)となったほか、4 位に「兵庫県」「広島県」「山口県」「愛媛県」(いずれも 18.0%)、8 位に「和歌山県」(16.0%)が入り、上位 10 都道府県中 8 県が西日本の県となりました。教育熱の高い県は西日本に多いようです。(図 25)

また、子どもがいる人(1,042 名)に注目し、できるだけお金をかけたいと思うもので「教育」を挙げた人の割合を地域別にみると、「中国・四国」(25.1%)や「近畿」(24.8%)が他の地域に比べてやや高くなりました。(図 26)

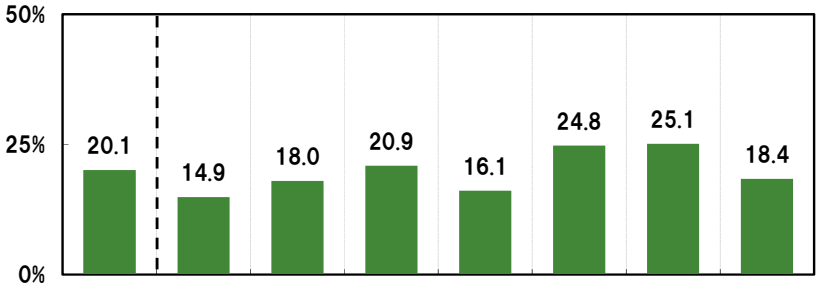
(図 25)

◆「教育」にお金をかけたい
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均:11.9%》

	都道府県	%
1位	徳島県	20.0
	福岡県	20.0
	大分県	20.0
4位	兵庫県	18.0
	広島県	18.0
	山口県	18.0
	愛媛県	18.0
8位	栃木県	16.0
	群馬県	16.0
	和歌山県	16.0

(図 26)

◆「教育」にできるだけお金をかけたい人の割合
対象:子どもがいる人

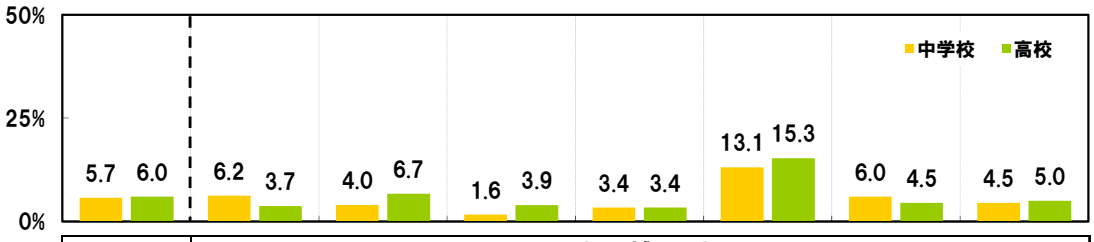


全国平均	地域別						
	北海道・東北	関東	北陸・甲信越	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
n=1042	n=161	n=150	n=129	n=87	n=137	n=199	n=179

次に、子どもに望む(望んでいた)進学先を聞いたところ、地域による特徴がみられたのは中学校と高校の進学先で、教育にできるだけお金をかけたい人の割合が他の地域にくらべ高かった近畿では、中学校で「私立」を望んだ人が 13.1%、高校で「私立」を望んだ人が 15.3%と他の地域に比べて突出して高くなりました。(図 27)

(図 27)

◆子どもに望む(望んでいた)進学先で、中学校・高校で「私立」を望んだ人の割合



全国平均	地域別						
	北海道・東北	関東	北陸・甲信越	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
n=1042	n=161	n=150	n=129	n=87	n=137	n=199	n=179

NEWS LETTER (調査レポート)

◆仲良し家族が多い都道府県　1 位「福岡県」、友達親子が多い都道府県　1 位「宮城県」
◆親の老後は家族が支えるべきだと思う　1 位は「広島県」と「長崎県」

各都道府県民の家族事情の特徴を探るため、全回答者（2,350　名）に、家族に関する内容を提示してどの程度自分の家族にあてはまるかを聞き、同意率（「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計）の高さで各項目における都道府県ランキングを算出しました。

まず、家族仲についてみると、【家族の仲がいい】では、1 位は「福岡県」（74.0%）で約 4 人に 3 人が自分の家族は仲がいいと回答しました。次に、親子関係についてみると、【友達親子である】の 1 位は「宮城県」（48.0%）で約半数が友達親子であると回答しました。（図 28）（図 29）

また、家族に対する意識についてみると、【家族を大切にしたい】では、1　位は「滋賀県」と「佐賀県」（いずれも　86.0%）となりました。【家族の仲がいい】と【家族を大切にしたい】では、上位になる都道府県の入れ替わりが多くなりました。家族を大切にしたいと思っていても、それを上手く伝えられず、家族の仲良さを実感できていない人が多いのかもしれません。

そして、【親の老後は家族が支えるべきだと思う】では、1　位は「広島県」と「長崎県」（いずれも　74.0%）でした。九州・沖縄地方では 1 位の「長崎県」のほか、3 位に「沖縄県」（70.0%）、5 位に「福岡県」「佐賀県」「宮崎県」（いずれも　68.0%）と多くの県が上位になり、親の老後の面倒に対する意識が高い地域であることがわかりました。（図 30）（図 31）

（図 28）

◆家族の仲がいい
各都道府県【n=50】 ※上位8都道府県表示
《全国平均：61.8%》

	都道府県	%
1位	福岡県	74.0
2位	東京都	72.0
	福井県	72.0
	高知県	72.0
	鹿児島県	72.0
6位	岩手県	70.0
	山梨県	70.0
	滋賀県	70.0

%：同意率（「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計）

（図 29）

◆友達親子である
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均：34.0%》

	都道府県	%
1位	宮城県	48.0
2位	岩手県	44.0
	山梨県	44.0
	広島県	44.0
5位	群馬県	42.0
	福井県	42.0
	岐阜県	42.0
	京都府	42.0
	佐賀県	42.0
	鹿児島県	42.0

%：同意率（「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計）

（図 30）

◆家族を大切にしたい
各都道府県【n=50】 ※上位7都道府県表示
《全国平均：75.9%》

	都道府県	%
1位	滋賀県	86.0
	佐賀県	86.0
3位	石川県	84.0
4位	岩手県	82.0
	東京都	82.0
	京都府	82.0
	宮崎県	82.0

%：同意率（「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計）

（図 31）

◆親の老後は家族が支えるべきだと思う
各都道府県【n=50】 ※上位9都道府県表示
《全国平均：60.2%》

	都道府県	%
1位	広島県	74.0
	長崎県	74.0
3位	三重県	70.0
	沖縄県	70.0
5位	東京都	68.0
	京都府	68.0
	福岡県	68.0
	佐賀県	68.0
	宮崎県	68.0

%：同意率（「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計）

NEWS LETTER (調査レポート)

◆家事メンが多い都道府県　1 位「群馬県」「東京都」、イクメンが多い都道府県　1 位「宮崎県」
◆“財布の紐は妻に”＆“妻がケンカで勝つ”　ニッポンかかあ天下グランプリ　1 位は「岐阜県」
◆夫のおこづかいが多い地域は近畿、妻のおこづかいが多い地域は関東

家族事情についてみてきましたが、各都道府県民の夫婦関係の特徴はどのようになっているのでしょうか。全回答者（2,350 名）に、夫婦関係（※）について聞きました。

※婚姻状況が未婚の人は自分の親、離別・死別の人は以前の状況について回答

まず、夫の家事や子育て参加の状況についてみると、【夫がよく家事に参加している都道府県】の 1 位は「群馬県」「東京都」（いずれも 48.0%）、【夫がよく子育てに参加している都道府県】の 1 位は「宮崎県」（50.0%）でした。また、両方で高い順位となったのは「岩手県」（家事に参加 3 位、子育てに参加 2 位）や「宮崎県」（家事に参加 3 位、子育てに参加 1 位）でした。結婚相手を探す際には、参考にしてみるといいかもしれません。（図 32）（図 33）

（図 32）

◆夫がよく家事に参加している
各都道府県【n=50】 ※上位14都道府県表示
《全国平均：36.0%》

	都道府県	%
1位	群馬県	48.0
	東京都	48.0
3位	岩手県	44.0
	三重県	44.0
	和歌山県	44.0
	宮崎県	44.0
7位	栃木県	42.0
	新潟県	42.0
	山梨県	42.0
	岐阜県	42.0
	兵庫県	42.0
	佐賀県	42.0
13位	広島県	40.0
	沖縄県	40.0

%：同意率（「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計）

（図 33）

◆夫がよく子育てに参加している
各都道府県【n=50】 ※上位15都道府県表示
《全国平均：35.6%》

	都道府県	%
1位	宮崎県	50.0
2位	岩手県	46.0
	山梨県	46.0
	佐賀県	46.0
5位	北海道	44.0
	神奈川県	44.0
	兵庫県	44.0
	徳島県	44.0
9位	群馬県	42.0
	東京都	42.0
	岐阜県	42.0
12位	埼玉県	40.0
	石川県	40.0
	三重県	40.0
	和歌山県	40.0

%：同意率（「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計）

NEWS LETTER (調査レポート)

次に、夫婦の力関係についてみると、【妻が財布の紐を握っている都道府県】の 1 位は「岐阜県」と「長崎県」(いずれも 66.0%)、【妻がケンカで勝つことが多い都道府県】でも 1 位は「岐阜県」(50.0%)と、両方で岐阜県が 1 位となりました。岐阜県民の夫が優しいのか、妻が強いのかは興味深いところです。また、上位 10 都道府県をみると、【妻が財布の紐を握っている都道府県】では、1 位の「長崎県」(66.0%)のほか、3 位に「奈良県」「島根県」(いずれも 64.0%)、5 位に「京都府」「宮崎県」(いずれも 62.0%)、7 位に「山口県」(60.0%)、8 位に「愛媛県」「熊本県」(いずれも 58.0%)と、上位 10 都道府県中 8 つが西日本の府県となりました。妻が家計を管理している家庭は、西日本に多いようです。【妻がケンカで勝つことが多い都道府県】についても同様にみると、2 位は「徳島県」「香川県」「愛媛県」と四国の 3 県が並び、北陸・甲信越の県も 2 位の「長野県」(44.0%)、8 位の「富山県」「山梨県」と 3 県が入りました。ケンカが起こった際に妻が勝利をおさめている家庭は、四国や北陸・甲信越に多いようです。 (図 34)(図 35)

(図 34)

◆妻が財布の紐を握っている
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均:52.2%》

	都道府県	%
1位	岐阜県	66.0
	長崎県	66.0
3位	奈良県	64.0
	島根県	64.0
5位	京都府	62.0
	宮崎県	62.0
7位	山口県	60.0
8位	静岡県	58.0
	愛媛県	58.0
	熊本県	58.0

(図 35)

◆妻がケンカで勝つことが多い
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均:32.3%》

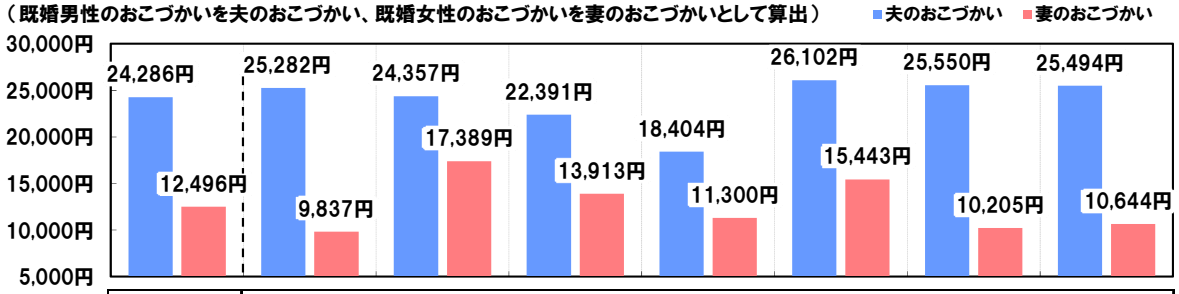
	都道府県	%
1位	岐阜県	50.0
2位	秋田県	44.0
	長野県	44.0
	徳島県	44.0
	香川県	44.0
	愛媛県	44.0
7位	群馬県	40.0
8位	富山県	38.0
	山梨県	38.0
	沖縄県	38.0

そして、1 ヶ月のおこづかいを聞いたところ、夫のおこづかいの平均額が最も高くなった地域は近畿で 26,102 円。妻が財布の紐を握っている都道府県で「岐阜県」が 1 位、「静岡県」が 8 位でしたが、東海が最も低くなった(18,404 円)地域でした。他方、妻のおこづかいの平均額が最も高くなった地域は関東で 17,389 円、最も低くなった地域は北海道・東北で 9,837 円でした。

また、夫と妻のおこづかいの差に注目すると、開きが大きかった地域は、北海道・東北(15,445 円)、中国・四国(15,345 円)、九州・沖縄(14,850 円)で、15,000 円前後の開きがみられました。(図 36)

(図 36)

◆1ヶ月のおこづかいの平均
(既婚男性のおこづかいを夫のおこづかい、既婚女性のおこづかいを妻のおこづかいとして算出)



全国平均		地域別															
		北海道・東北		関東		北陸・甲信越		東海		近畿		中国・四国		九州・沖縄	
夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻
n=497	n=603	n=71	n=92	n=70	n=90	n=69	n=69	n=47	n=50	n=59	n=79	n=100	n=122	n=81	n=101

NEWS LETTER (調査レポート)

◆貯蓄が最も多い都道府県は？　1 位「香川県」426.4 万円　2 位「奈良県」409.0 万円
◆貯蓄の目的にも県民性は表れる!?　香川県は万一の際の備えで貯蓄をする人が多い傾向

全回答者（2,350 名）に、貯蓄について聞きました。

まず、現在の貯蓄額を聞いたところ（※）、平均貯蓄額が最も高くなった都道府県は「香川県」で 426.4 万円。2 位は「奈良県」で 409.0 万円、3 位は「福井県」で 384.8 万円となりました。（図 37）

※「0 円」～「3000 万円以上」の選択肢を用意し聴取

（図 37）

◆貯蓄額の平均
各都道府県【n=50】 ※上位10都道府県表示
《全国平均：202.9万円》

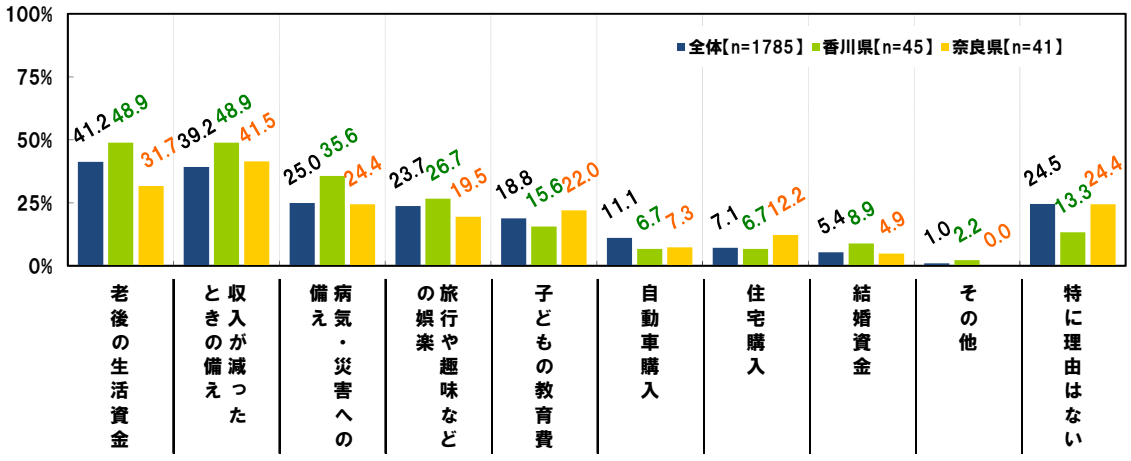
	都道府県	平均
1位	香川県	426.4万円
2位	奈良県	409.0万円
3位	福井県	384.8万円
4位	埼玉県	352.3万円
5位	岐阜県	349.7万円
6位	長崎県	341.4万円
7位	岡山県	296.1万円
8位	愛知県	271.0万円
9位	群馬県	266.9万円
10位	東京都	266.2万円

次に、現在、貯蓄をしている人（1,785 名）に、貯蓄をする目的を聞いたところ、全体では「老後の生活資金」（41.2%）や「収入が減ったときの備え」（39.2%）が多く挙げられました。

平均貯蓄額が 1 位になった香川県と 2 位の奈良県の回答に注目すると、香川県では「収入が減ったときの備え」（48.9%）や「病気・災害への備え」（35.6%）が全体に比べ 10 ポイント前後高くなりました。香川県は万一の際の備えに対する意識が強いようです。また、奈良県についてみると、「住宅購入」（12.2%）が全体に比べ 5.1 ポイント高くなりました。できるだけお金をかけたいもので「住宅」と回答した人が全国一だった奈良県ですが、貯蓄をする目的にも表れているようです。（図 38）

（図 38）

◆貯蓄をする目的
対象：現在、貯蓄をしている人



NEWS LETTER (調査レポート)

注:本調査レポートの百分率表示は小数点第 2 位で四捨五入の丸め計算を行っているため、
合計しても 100%とならない場合がございます。

《調査概要》

◆調査タイトル　:47都道府県別　生活意識調査2015

◆調査対象　:ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
全国の20歳～59歳の男女

◆調査期間　:2015年11月9日～11月16日

◆調査方法　:インターネット調査

◆調査地域　:全国

◆有効回答数　:2,350サンプル(有効回答から居住地×性別×年代区分がほぼ均等になるように抽出)
(内訳)各都道府県50サンプル(男性25サンプル　女性25サンプル)

◆調査協力会社　:ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、

「ソニー生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申しあげます。

■■本調査に関するお問い合わせ窓口■■

ソニー生命保険株式会社　広報部　広報課　常松、大金
電話番号　:　03-3475-8813

■■会社概要■■

会社名　:ソニー生命保険株式会社
代表者名　:代表取締役社長　萩本　友男
設立　:1979(昭和 54)年 8 月
所在地　:東京都港区南青山 1-1-1　新青山ビル東館　3 階
業務内容　:生命保険業

SL15-0691-0008